

Yell

～絆を深めて Keep Smile～

第92号 令和2年11月26日(木)

「どうして?」「だったら?」科学的な見方を養う学習!

高学年では教科担任制度を取り入れているため、それぞれの教科でより専門的な学習を展開することができます。今回は、理科の特集です。理科の学習では、「観察、実験などを行い、問題解決の力を養う」ことが求められています。そこで一人ひとりが実験に参加する中で、友達と協働作業を通して学習を深められるように、指導方法を工夫しています。



現在、5年生では「ものとりけ方」、6年生では「てこのはたらき」の学習を進めています。理科室では8～10の小グループを作り、密を避けながら少人数で実験を行います。この日、5年生は、食塩がどこまで水に溶けるのかを実験していました。目の前にある様々な器具を見て、興奮気味な子ども達。実際に体験することで、学びの質を高めることができました。



6年生は協働して学ぶ学習を重点的に取り入れています。ここでは、単元のはじめに計画した身近なてこを使った道具に目を向け、3つの種類にグループ分けをしています。その際、自然と「力点、支点、作用点」といった理科の用語が会話の中に出てきます。根拠を伴いながら学習を進めている様子がよく伝わってきました。

このようにして、楽しみながら、友達と協力して新しい発見をすることをゴールに掲げ、担当で話を進めながら指導方法を工夫・改善しています。

静けさや 部屋にしみいる 筆の音



「ピンチをチャンスに！」
黒崎中央小学校では、コロナ禍で
できないことよりも、ポジティブ
発想で、できることを模索してき
ました。

こちらの写真は、6年生図画工
作科の様子です。1枚の絵に物語
を作っています。出来上がった作
品は、1年生に発表する予定で
す。

今年度は、様々な交流の方法を
考えました。子ども達は1年生
に伝えようと、一生懸命。聞こえ
るのは鉛筆の音…。静かで心地よ
い時間が流れました。

もっと体験を！担任の思い…



小学校生活最後の年を迎えた6年生。担任の先生は考えました。
「少しでも多くの経験をして卒業させてあげたい！」
そこで実現した今回のサツマイモ植え企画。今週は学級毎に芋ほり体験をして楽しんでいます。



今、この一瞬にありがとう～人と人とのつながりを大切に！～

担任の先生は、毎日のように、放課後職員室で話し合っています。
「あんなことをしたらもっと子ども達が喜ぶのではないかな？」
「今日、子ども達の表情が疲れていただけだけど大丈夫かな？」
常に、子ども達の表情を観察しながら、子どもに寄り添い、安心して学校生活を送れるように心がけています。

保護者の皆様、いつもご理解・ご支援を賜りありがとうございます。時には、至らぬこともあるかもしれせん。お気づきになったことがありましたら、連絡帳等でお知らせください。